

11. ローマ帝国史科 (2026年度)

【 水曜日 授業予定表 】 講師： 南川高志先生、草生久嗣先生、阿部俊大先生、ほか

		午 前				午 後		
回	月 日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容
1 学 期	1	6月	①	★	①入学式 (大阪国際会議場)			
	2	4月15日	1	講義	ローマ帝国史講義序論	京都大学名誉教授 南川高志	学習・行事予定等の説明	クラスオリエンテーション、班内自己紹介
	3	22日	2	講義	共和政ローマの発展とローマ帝国の成立	京都女子大学教授 桑山由文	コーダイオリエンテーション、クラス自己紹介	
	4	5月13日	3	講義	共和政ローマの変容と皇帝政治の成立	京都女子大学教授 桑山由文	自主活動	班各担当・班長決定、遠足行先検討
	5	20日	4	講義	皇帝政治の時代	京都女子大学教授 桑山由文	〃	各担当別会議
	6	3日	5	講義	最盛期ローマ帝国の社会 その1	京都大学名誉教授 南川高志	自主活動	各担当別会議
	7	6月10日	②	★	②遠足			
	8	17日	6/⑥	講義	最盛期ローマ帝国の社会 その2	京都大学名誉教授 南川高志	④社会への参加活動 (準備活動) (活動事例研究)	
	9	7月1日	7	講義	ローマ帝国の危機と再建	京都女子大学教授 桑山由文	自主活動	コーダイフェスタの発表テーマ内容検討
	10	8日	8	講義	後期ローマ帝国時代	奈良大学教授 足立広明	〃	コーダイフェスタ発表準備
	11	15日	9	講義	キリスト教の発展とローマ帝国	奈良大学教授 足立広明	〃	コーダイフェスタ発表準備
	12	22日	10	講義	ビザンチン帝国序論および帝国の繁栄	大阪公立大学教授 草生久嗣	〃	コーダイフェスタ発表準備
8	夏 休 み							
2 学 期	13	9月16日	11	講義	古代末期の世界	奈良大学教授 足立広明	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討
	14	30日	12	講義	ギリシャ化の進展	大阪公立大学 紺谷由紀	〃	コーダイフェスタ発表準備
	15	7日	13	講義	ローマ帝国の世界遺産を巡る (コンスタチノーブル)	旅行ライター 竹村和花	自主活動	コーダイフェスタ発表準備
	16	10月14日	④	★	④コーダイ健康まつり (大阪府立門真スポーツセンター)			
	17	21日	14	講義	宗教・文化が花開く	大阪公立大学 非常勤講師 貝原哲生	〃	コーダイフェスタ発表準備
	18	28日	15	講義	帝国生き残りへの新たな挑戦	大阪公立大学 非常勤講師 佐伯綾那	〃	コーダイフェスタ発表準備
	19	4日	16	★校外学習	ローマ帝国の美術 「京都ギリシャ・ローマ美術館」	奈良大学教授 足立広明	本校外学習は「自主企画講座」として実施	
	20	11日	17	講義	帝国の終焉とビザンチン帝国が後世に残したも	大阪公立大学教授 草生久嗣	自主活動	コーダイフェスタ発表準備
	21	18日	18	講義	神聖ローマ帝国 (ローマの政治的遺産)	大阪公立大学准教授 佐々木博光	〃	コーダイフェスタ発表準備
	22	26日	⑤	★	⑤コーダイフェスタ (豊中市立文化芸術センター)			
	23	12月2日	19	講義	ローマ帝国の建築	京都工織大名誉教授 西田雅嗣	〃	成果発表会内容検討
	24	9日	20	★街歩き	ローマ帝国の建築を大阪で (中之島界限)	京都工織大名誉教授 西田雅嗣	午後も校外学習	
25	16日	21	講義	古代教会から中世教会への展開 (ローマの宗教的遺産)	東京大学名誉教授 池上俊一	自主活動	成果発表会準備	
26	23日	22	講義	十字軍と地中海貿易	同志社大学教授 阿部俊大	〃	成果発表会準備	
冬 休 み								
3 学 期	27	13日	23	講義	ローマ帝国の世界遺産を巡る (ローマ)	旅行ライター 竹村和花	自主活動	成果発表会準備
	28	20日	24	講義	ローマ法の進展 (ローマの法的遺産)	京都産業大学准教授 梶原洋一	〃	成果発表会準備
	29	27日	⑥	⑥社会への参加活動				
	30	3日	25	講義	ルネサンスは古代ローマ文化の復興か? (中世におけるローマの知的・文化的遺産)	同志社大学名誉教授 石坂尚武	〃	成果発表会準備
	31	10日	26	講義	ローマ帝国と近現代の世界	京都大学名誉教授 南川高志	〃	成果発表会資料まとめ
	32	24日	27	学習成果発表会				
	33	⑦修了式						
34	3日	⑧	⑧・⑨卒業旅行 (1泊2日)					
35	4日	⑨						
授 業 (自主企画、成果発		27 (講座数列1~27)						
学習事業 (①~⑨)		9 (講座数列①~⑨)						
合 計		36						

2026. 3. 19

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。